大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F113310103992	設置等組織名	子ども学部家族・地域支援学科
大学名	白梅学園大学	設置区分	私立	事業計画名	白梅学園大学子ども学部デジタル・グリーン子ども学科設置計画
学校種	大学	都道府県	東京		

1.フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。

当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
フェーズ1	1-① 令和6年4月～継続 三井物産株式会社、株式会社ぐうたLabo、連携予定大学との事前協議、調整の開始。 1-② 令和6年6月～継続 新設学科認可申請のための市場調査・申請支援委託 1-③ 令和6年6月～継続 三井物産株式会社、株式会社ぐうたLabo、連携予定大学との協議の開始、合同研究会の実施 1-④ 令和6年6月～継続 小平市、国立市との事前協議の実施 1-⑤ 令和6年6月～継続 新学科（設置構想中）のためのパンフレット等制作 1-⑥ 令和6年6月～継続 新学科（設置構想中）のためのオープンキャンパス、高校教諭対象進学説明会の実施 1-⑦ 令和6年6月～継続 新学科（設置構想中）のための広報活動（雑誌・Web広告等、進学相談会等参加） 1-⑧ 令和6年6月～継続 新設学科認可申請の事前相談の実施 1-⑨ 令和6年6月～継続 地元企業等との事前協議の実施 1-⑩ 令和6年6月～継続 新学科（設置構想中）のための高校へのヒアリング 1-⑪ 令和6年7月～継続 新設学科認可申請の受容性調査委託 1-⑫ 令和7年3月～継続 新学科の入試内容の検討	① 令和6年6月～三井物産株式会社、株式会社ぐうたLabo、連携予定大学との事前調整の協議開始 ② 令和6年8月～新学科認可設置のための市場調査・申請支援委託契約 ③ 令和6年6月～三井物産株式会社、株式会社ぐうたLabo、連携予定大学との協議開始、合同研究会の実施 ④ 令和6年6月 小平市・国立市へ新学科構想の伝達 ⑤ 令和6年8月 新学科（設置構想中）のためのチラシの作成 ⑥ 令和6年8月～新学科（設置構想中）のためのオープンキャンパス実施 ⑦ 令和6年8月～新学科（設置構想中）のための広報活動（高校訪問・HP） ⑧ 令和6年8月～新設学科認可申請の事前相談の実施 ⑨ 令和6年6月 地元企業との事前協議の実施 ⑩ 令和6年8月 新学科（設置構想中）のための高校ヒアリング ⑪ 受容性調査委託は行わなかった ⑫ 令和7年3月～ 新学科の入試内容の検討	R6年度自己評価	【2】計画を十分には実施していない。 文部科学省高等教育局長（8月6日）、文部科学省高等教育局専門教育課（10月21日）へ相談、理系分野において実績のある大学（東京農工大学農学部（7月24日）、東京理科大学（7月24日））へ相談を行ってきたり、立教大学の環境学部の構想についてヒアリング（8月8日）などを行ってきた。令和6年8月のオープンキャンパスにおいて、高校生を対象に受容性調査を行い、学科の構想をさらに具体化するように検討してきた。また、適切な農地実習地の確保のため、令和7年2月には東京農工大学農学部と学部間協定による教育研究施設の利用の連携協定を締結してきた。高等学校からの意見聴取と募集活動の充実のために、新たに3校（昭和第一高等学校、自由の森学園高等学校、大東学園高等学校）の高等学校と高大連携協定を締結してきた。理事会等において施設整備計画及び資金計画について、協議を行ってきた。教育内容を検討する中で、設置を構想している学科のコンセプトと親和性の高い、既存学科である子ども学部子ども学科についても基礎とする学科として定めることについて検討を開始したことにより、定員の規模を再検討することとしたため、開設時期を一年後倒しにする検討を行った。
	○年度自己評価	リストから選択してください。		
フェーズ2 前倒し	2-① 令和6年から継続 インベーション commons 棟（新棟）建設 2-② 令和6年から継続 新学科のためのB棟・E棟・F棟の改修 2-③ 令和8年3月～ 新学科のための実習室及び機器の整備、実習室及び機器の整備	再検討を行うため実施しなかった。	R6年度自己評価	【1】計画を実施していない。 当初予定していた、学科設置に伴う施設整備について、計画当初よりも物価高騰により価格がかなり上昇しており、学園の教育施設資金計画において、再検討を行わざるを得ない状況となったことから、教育施設整備計画及び施設整備資金計画の再検討をおこなうため、事業の着手を行わなかった。
○年度自己評価	リストから選択してください。			
認可申請又は届出	令和7年3月 子ども学部デジタル・グリーン子ども学科 設置認可申請予定 令和7年3月 子ども学部デジタル・グリーン子ども学科収容定員変更（定員増）承認認可申請予定	令和6年10月 子ども学部家族・地域支援学科 定員変更届（入学定員40名→20名、編入学定員2名、教育・保育学関係、社会学・社会福祉学関係）		
フェーズ1 後倒し	1-② 令和6年6月～継続 新設学科認可申請のための市場調査・申請支援委託 1-③ 令和6年6月～継続 三井物産株式会社、株式会社ぐうたLabo、連携予定大学との協議の開始、合同研究会の実施 1-④ 令和6年6月～継続 小平市、国立市との事前協議の実施 1-⑥ 令和6年6月～継続 新学科（設置構想中）のためのオープンキャンパス、高校教諭対象進学説明会の実施 1-⑦ 令和6年6月～継続 新学科（設置構想中）のための広報活動（雑誌・Web広告等、進学相談会等参加） 1-⑪ 令和7年3月～継続 新学科の入試内容の検討 1-⑫ 令和7年4月～ 新学科入試内奥及び作題の検討 1-⑬ 令和7年9月～ 新学科学生募集（入学試験要綱の配布及び願書受付開始）予定		○年度自己評価	リストから選択してください。
	○年度自己評価	リストから選択してください。		
フェーズ2	2-① 令和6年から継続 インベーション commons 棟（新棟）建設 2-② 令和6年から継続 新学科のためのB棟・E棟・F棟の改修 2-③ 令和8年3月～ 新学科のための実習室及び機器の整備、実習室及び機器の整備		○年度自己評価	リストから選択してください。
○年度自己評価	リストから選択してください。			
開設又は定員増	令和7年4月 子ども学部デジタル・グリーン子ども学科開設（入学定員60名、編入学定員2名、農学関係、教育学・保育学関係）			
フェーズ2 後倒し	2-① 令和8年4月～ インベーション commons 棟（新棟）供用開始 2-② 令和6年から継続 新学科のためのB棟・E棟・F棟の改修		○年度自己評価	リストから選択してください。
	○年度自己評価	リストから選択してください。		
フェーズ3	3-① 令和8年4月～ 新学科のための広報・活動情報発信（雑誌・Web広告等、高校訪問、進学相談会等参加） 3-② 令和8年4月～ フィールドワーク連携コーディネーター活用 3-③ 令和8年4月～ 連携高等学校との高大接続事業の本格的な開始 3-④ 令和8年5月～ 新学科の活動情報発信イベント、オープンキャンパス、高校教諭対象進学説明会の実施 3-⑤ 令和8年6月～ 三井物産株式会社、株式会社ぐうたLabo、連携予定大学との定例協議連絡会の開催 3-⑥ 令和8年9月～ 新学科入学試験要綱の配布 3-⑦ 令和8年9月～ 新学科学生募集開始（願書受付開始） 3-⑧ 令和8年4月～ 近隣学校への出前授業活動 3-⑨ 令和12年3月 連携事業報告会実施		○年度自己評価	リストから選択してください。
	○年度自己評価	リストから選択してください。		
	○年度自己評価	リストから選択してください。		
	○年度自己評価	リストから選択してください。		
定員減又は学部等の廃止	令和12年3月 子ども学部家族・地域支援学科 廃止届出予定（入学定員40名、編入学定員2名、教育・保育学関係、社会学・社会福祉学関係）			

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	白梅学園大学
-------------	-------	-----	--------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の大学

該当無し	☒ チェック
------	--
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	☒ チェック
------	--
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	☒ チェック
------	--
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	☒ チェック
------	--
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	☒ チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">確認を受けている</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">☒ チェック</td> </tr> <tr> <td>確認の対象に該当しない</td> <td style="text-align: center;">☐ チェック</td> </tr> </table>		確認を受けている	☒ チェック	確認の対象に該当しない	☐ チェック	
確認を受けている	☒ チェック					
確認の対象に該当しない	☐ チェック					
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">☒ チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">☒ チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">☒ チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">☒ チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">☒ チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">☒ チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑧	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">☒ チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑨	入学定員が20名以上増加する計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">☒ チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑩	事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる、又は設置等を行った</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">☒ チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	☒ チェック			
計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	☒ チェック					
⑪	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">☒ チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑫	フェーズ3の助成期間終了時まで、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">☒ チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑬	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">☒ チェック</td> </tr> </table>		計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。		計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	☒ チェック	
計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。						
計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	☒ チェック					
⑭	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">認定を受けておらず申請する意向もない</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">☒ チェック</td> </tr> </table>		認定を受けておらず申請する意向もない	☒ チェック			
認定を受けておらず申請する意向もない	☒ チェック					
⑮	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">認定を受けておらず申請する意向もない</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">☒ チェック</td> </tr> </table>		認定を受けておらず申請する意向もない	☒ チェック			
認定を受けておらず申請する意向もない	☒ チェック					

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	白梅学園大学
-------------	-------	-----	--------

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
<p>a. 三井物産株式会社（本社：東京都千代田区）エネルギーソリューション本部と連携し、市民教育、農業（地産地消）、都市再生の観点からのGX等を推進するPBL等の科目整備を予定している。また、エコカレッジくらた村を運営する株式会社くらたLabo（本社：山梨県北杜市）とは、環境教育、自然保育プログラムを通じた、GX推進者の育成や次世代育成に関するPBL等の科目整備を予定している。なお、本学と連携協定を締結している東京都小平市、国立市とは、DX・GXに関するゼミナル活動へと繋がる特定課題活動、地域課題解決型プロジェクトの展開を計画している。</p> <p>b. 他大学と連携した科目の整備・実施について、学校法人高松学園 飯田短期大学（所在地：長野県飯田市）と令和6年4月より検討を開始する予定である。</p>	<p>a. 三井物産株式会社（本社：東京都千代田区）エネルギーソリューション本部と連携し、市民教育、農業（地産地消）教育のため、令和6年度は研究会に招聘し、講演を行い、交流を行った。また、エコカレッジくらた村を運営する株式会社くらたLabo（本社：山梨県北杜市）に本学教員が出向き、科目実施のための打ち合わせをおこなった。「子どものためのGDX研究会」を設置し、農学と子ども学に係る研究会を4回実施し、カリキュラム検討をすすめた。</p> <p>b. 飯田市とは令和7年7月に連携協定締結を予定している。飯田短期大学との連携協議について、令和7年7月に予定している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が1年遅れるため、教育課程の調整を行い、実施に協議を継続する。 ・近隣他市との連絡協議を進めている。（令和7年3月茅ヶ崎市と連携協定締結）

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- チェック a. 入学者選抜における科目の見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- チェック e. 留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
<p>a. デジタル・グリーン分野を目指す人材として基礎的な学力を有することを測定するため、文系科目に加えて数学、生物や情報に関する入試科目の設定を計画している。また、面接試験、課題探究を目的とした事前課題やプレゼンテーション、学力試験等を適切に組み合わせ、学びに向かう力や協働性など、適性を測る入学者選抜を実施する予定である。</p> <p>b. 高大連携先である併設の中学・高等学校（女子校）に特別推薦制度を設けるなど円滑な接続に努める。また、近隣の女子高等学校との積極的な教育連携推進により女子学生の確保（志願者増）を行う。</p> <p>c. 併設中学・高等学校との連携事業において模擬授業を実施するほか、東京都、神奈川県、埼玉県、山梨県の高等学校を中心に出席授業を実施し、デジタル・グリーン分野の普及と人材の掘り起こしを行う。</p> <p>d. 社会人入試や編入学試験を実施し、他分野からの人材確保、学際的人材の創出、学び直しの支援を行う。また、現任者研修や公開講座を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な入試選抜方法を検討している。 ・高大連携先である併設の中学・高等学校（女子校）に特別推薦制度を拡充した。 ・併設中学・高等学校との連携事業において模擬授業を実施するほか、都内総合高校を中心に出席授業及び、高大連携事業を実施した。新たに3校の高大連携協定を締結した。 ・社会人入試の実施及び公開講座や「子ども学カフェ」の実施などリカレント教育事業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が一年遅れる予定のため、さらなる入試選抜方法の検討を行う予定。

大学名	白梅学園大学
-----	--------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	
大区分	小区分	項目	単位																				
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	250	230																		
		入学者数	人	161	193																		
	その他の学期	入学定員	人	***	***																		
		入学者数	人	***	***																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	250	230																		
		入学者数(B)	人	161	193																		
		入学定員充足率 (B/A)	倍	0.64	0.84																		
	収容定員等	収容定員(C)	人	985	990																		
		編入学定員	人	30	30																		
		在籍者数(D)	人	819	796																		
		編入学者数	人	6	14																		
		収容定員充足率 (D/C)	倍	0.83	0.80																		

4.外部資金の状況（全学）

年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度
改組状況								選定													
項目	単位																				
外部資金獲得額	千円		10,125	1,082	1,081	12,884	10,217	15,190													

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 (過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均) (E)	千円	7,141
本事業による助成金の額(F)	千円	561,766
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	21,186

特記事項